

平成24年度（2012年度）予算総括表

単位：千円、%

会 計		平成24年度 (2012年度) A	平成23年度 (2011年度) B	増 減	
				増 減 額 C (A-B)	増 減 率 C/B
一 般 会 計		38,070,000	38,150,000	▲ 80,000	▲ 0.2
特 別 会 計	競 艇 事 業 費	50,600,000	42,400,000	8,200,000	19.3
	国 民 健 康 保 険 事 業 費	13,954,220	14,016,513	▲ 62,293	▲ 0.4
	牧 落 住 宅 団 地 事 業 費	22,328	22,328	0	0.0
	財 産 区 事 業 費	2,105,552	2,113,642	▲ 8,090	▲ 0.4
	介 護 保 険 事 業 費	7,290,494	6,751,987	538,507	8.0
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 費	610,186	707,931	▲ 97,745	▲ 13.8
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 費	1,722,771	1,431,678	291,093	20.3
特別会計の計		76,305,551	67,444,079	8,861,472	13.1
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	9,250,231	9,150,587	99,644	1.1
	水 道 事 業 会 計	3,504,105	3,593,817	▲ 89,712	▲ 2.5
	公 共 下 水 道 事 業 会 計	2,651,628	2,969,916	▲ 318,288	▲ 10.7
	企業会計の計		15,405,964	15,714,320	▲ 308,356
合 計		129,781,515	121,308,399	8,473,116	7.0

***** 平成24年度予算の主な変化 *****

《一般会計・歳入》

- ・年少扶養控除の廃止等による市民税の増加が見込まれるものの、景気の低迷による所得の落ち込みや固定資産の評価替えなどにより、市税収入全体ではほぼ前年度並みとなる見通しです。
- ・施設整備等に伴う積立基金の投入額(取崩額から積立額を差し引いた額)は、最小限度の約4.8億円に抑制し、財政調整基金の取り崩しはゼロとしました。
- ・臨時財政対策債を限度額まで全額発行しないなど、市債発行額を前年度並みの約25億円に抑制しました。その結果、市債残高は減少する見込みです。

《一般会計・歳出》

- ・北大阪急行線延伸や彩都地区の道路・公園整備などにより、土木費は約5億円、物件費は約4億円増加しました。
- ・「小野原多世代地域交流センター」・「多文化交流センター(仮称)」の建設に伴い、総務費は約13億円増加しました。
- ・「多世代交流センター(新・松寿荘、子育て支援センター)」や民設民営となる養護老人ホーム「新・永寿園」の整備などにより、民生費は約11億円増加しました。
- ・平成23年4月開校の小中一貫校「彩都の丘学園」の整備費の支払が概ね完了(一括支払部分、H22～H23の2ヶ年)したことにより、教育費は約22億円減少しました。

《全会計》

- ・SG競走(賞金王決定戦競走)開催のため特別会計競艇事業費の予算規模が大幅に拡大することから、全会計の予算総額が約85億円増加しました。